

# 令和8年度 甲州市立大藤小学校 グランドデザイン

校訓：至誠 博愛 勇気

## ◇学校教育目標

「自ら考え、正しく判断し、行動する児童の育成」

### 1 めざす子ども像

- (1) 自ら考えて学習する子ども
- (2) 健康で明るい子ども
- (3) 思いやりの心をもつ子ども
- (4) 協力しやりぬく子ども
- (5) 郷土を愛する子ども

### 2 めざす教師像

- (1) 子どもの心を理解できる教師
- (2) 子どもと共に取り組む教師
- (3) 子どもと共に伸びる教師
- (4) 子どもに夢と希望を培う教師

### 3 めざす学校像

- (1) 明るく楽しい学校
- (2) 子どもが伸びる学校
- (3) 安全で安心な学校
- (4) 地域に信頼される学校

児童の実態  
家庭の実態  
地域の実態

児童の願い  
保護者の願い  
地域の願い  
教職員の願い

教育基本法  
学校教育法  
学習指導要領  
県指導指針  
県教育大綱  
県振興基本計画  
市指導重点  
市「夢をかえろ」P  
子ども十の誓い  
親のあり方十箇条

「みんなが楽しい」大藤小学校

## 学校経営の基本方針

- (1) 心身共に健やかな成長と発達をめざす、健康安全教育の推進。
- (2) 道徳教育の推進、特別活動等の充実を通して、心豊かな児童を育成する。
- (3) 一人一人に確かな学力を保障し、自ら学ぶ楽しさを実感できる学習指導を行う。
- (4) 学校・家庭・地域との連携を図り、地域に信頼される学校づくりを行う。
- (5) 社会に開かれた教育課程を編成し、実施する。
- (6) 安全で安心な学校環境を整備し充実させる。
- (7) 教職員一人一人の力を結集し、学校力を向上させる。

### ○ 職員会議

- ・ 学校運営会
- ・ 生徒指導委
- ・ 特支校内委
- ・ いじめ対策委
- ・ 各校務分掌

<校内研究主題>  
「対話を広げ、主体的に学ぶ児童の育成」  
<副主題>  
少人数学級の枠を超えた「異学年・外部交流」と「ICT」のベストミックス

大藤版「やってみよう」

自分らしく 前向きに ありがとう

## 今年度の重点目標と努力点・具体策

### 確かな学力と自立する力の育成

- 「子ども一人一人が主語」となる授業づくり
- (1) 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。  
○わかる楽しい授業実践  
(ICT端末での授業改善と認め合える学級経営)  
○個に応じた学習と、関わり合い共に伸びる学習指導の充実、評価の一体化(複線型・単元内進度学習で主体的に取り組む態度の育成)  
○学習内容の定着(家庭学習・朝学習・自学・AIドリル)。
  - (2) 思考力・判断力・表現力を培い、知識・技能の活用力を高める。言語活動。
  - (3) 異学年、教科担任制を生かした学びの推進。

### 健康で豊かな生活を営む資質・能力の育成

- (1) 体育の授業を充実する。  
○体力テストの結果に基づく授業改善
- (2) 楽しみながら自ら体を鍛える継続的な「健康・体力づくり」を実施する。  
○体力づくり一校一実践等による運動の日常化
- (3) 家庭との連携による基本的な生活習慣の確立を図る。  
○児童の実態調査の実施、「早寝・早起き・朝ごはん」運動。  
○「食事・運動・休養と睡眠」の健康3原則。  
○「アウトメディア・ウィーク」運動。

### 豊かな心の育成

- (1) あいさつ運動を推進する。  
○児童会・家庭・地域との連携によるあいさつ運動
- (2) 体験学習における人・物との関わりを通して豊かな人間性を育成する。  
○縦割り班活動、勤労生産活動、地域学習、伝統・文化に関する教育と外国語教育、平和教育、道徳、SDGS。
- (3) 読書活動の推進。○朝読書・読み聞かせなど。
- (4) 他人を思いやる心の育成・人権教育と道徳の実践力を高める道徳教育、平和教育の充実。
- (5) Q1調査を活用した学級集団づくり。いじめ・不登校へ「チーム学校」として対応。
- (6) 共生社会の担い手づくりのインクルーシブ教育。

### 安全で安心して学べる教育環境づくり

- (1) 家庭・地域への情報発信の充実を図る。  
○学校行事等への招待・授業公開(学習成果の発信)  
○「学校だより(藤の子)」の地域配布
- (2) 学校の安全管理体制の充実・徹底を図る。  
○交通安全指導の徹底  
○実効性ある危機管理マニュアルの見直しと連携強化  
○教職員研修・様々な状況を想定した避難訓練の実施
- (3) 学校評価の充実と保護者・地域・関係機関との連携  
○児童・保護者アンケート、自己評価  
○学校運営協議会・懇話会委員による関係者評価  
○各評価を基に実効的なPDCAサイクル。働き方。

連携 協働

学校運営協議会<学校関係者評価> PTA活動(総会 役員会 学年部会 専門部会)  
学校支援ボランティア 地域講師 小中連携 公民館 自主防災組織 等 関係機関連携

家庭・地域から信頼される学校

歴史の積み重ね 地域と共に

< 地域とともにある学校づくり 保護者・地域との連携 >

< 地域に根ざした学校 >